

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	丹波漆等伝統文化活用・支援事業										事業コード	020108230288			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431				
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	74	頁
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	文化財保護法、漆掻き職人移住支援補助金交付要綱、丹波漆苗木購入費等補助金交付要綱、伝統的工芸品等後継者育成事業補助金交付要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 伝統文化の保存、継承に取り組む団体に対して、漆そのものの生産を増加させるために補助金交付等により継続的に支援を行っている。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 漆の植栽から漆が掻けるようになるまで約10年かかること及び漆生産の担い手が少ないことが課題である。丹波漆の生産を安定化し、担い手の経済的な安定性を確保するためには植栽支援の他にも継続的な支援が必要である。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 福知山市の伝統文化の保存・継承を行う団体及び個人の支援を行うとともに、普及啓発活動を団体と協働で実施し、本市の誇る伝統文化のPRを行う。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福知山市の伝統文化である丹波漆を始めとした文化継承に取り組む団体等の活動支援を行う。 支援内容としては、丹波漆の増産を図るため、苗木を購入し育成を図る団体又は個人に対し、苗木購入補助金を交付する。事業費の1/2、上限5万円										
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者					対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,732		1,672		100		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		1,732		1,672		100		0					
予算財源内訳	① 一般財源	614		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	1,118		1,672		100		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	1,732		1,672									
	③ 執行額	965		750									
	④ 執行率	55.7%		44.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.04	/	0.05	0.23	/	0.00	/					
	② 概算人件費	460		1,840									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,425		2,590									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	丹波漆等伝統文化活用・支援事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)			種類	総務費府補助金		646		決算附属資料	22		頁
			1										

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	g	2900	2002	8004			
		目標値		3600	5000	5000	5000	5000	
	漆生産量		達成度	%	81%	40%	160%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	本	164	90	80			
	漆植栽本数	当初見込		100	220	100	100	100	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	漆植栽実施回数								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	漆の植栽支援を行い丹波漆の生産量は増加しているが、後継者は増えていない状況である。また後継者が出てきたとしても生活が営める程の生産量が現状では、望めない。丹波漆の生産を安定化し、担い手の経済的な安定性を確保するためには植栽支援の他にできる継続的な支援を検討していく必要がある。

現状の課題 に対する 改善策	■市の土地利用計画による漆植栽地の整備に合わせた計画を策定し、丹波漆振興の今後の方向性を定める。 ■丹波漆の保存、継承を行う団体が進める漆の植栽、植栽場の管理を支援するため、団体とともに検討する。 ■夜久野地域住民への丹波漆の普及啓発と情報発信を行う。
----------------------	--

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	福知山城天守閣管理運営事業										事業コード	020108650303				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展							
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431					
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室						所属長	井上 郷太郎							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	76・77		頁
計画期間	開始年度	昭和61年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山城天守閣条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山市の象徴であり、観光スポットとしても重要な施設であり、ニーズが高い施設である。「福知山城から広がる福がいっぱい福知山」として観光ビジョンが決定し、必要性もますます高くなっている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 再建から令和8年度で40年を迎えるが、施設の老朽化が課題となっている。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 本市の歴史資料、民俗資料、考古資料等の保存・収集及び歴史と文化的な特徴を展示し、市民や本市来訪者へ普及啓発を図り、生涯学習活動の推進と市民文化の発展に寄与する。福知山城の歴史や特色を紹介し、福知山に対する愛着と理解を深める。 本市の歴史的シンボル、市民の心の拠り所である「福知山城」天守閣建物の適正な管理・運営を行う。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ■施設・設備の維持・管理。特別展・企画展の企画・開催 ■歴史資料・郷土資料の収集と保存・保管、研究 ■福知山城関連の観光イベント、メディア等の取材協力 ■受付・案内業務 ■企画展・体験会等普及活動の実施									
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者					対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)			R6(評価年度)			R7(本年度)			R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	9,090			8,995			6,383			0			
	② 補正予算	0			0			0			0			
	③ 繰越予算	0			0			0			0			
	前年度繰越	0			0			0			0			
	次年度繰越	0			0			0			0			
小計(①～③)		9,090			8,995			6,383			0			
予算財源内訳	① 一般財源	0			0			0			0			
	② 国支出金	0			0			0			0			
	③ 府支出金	0			0			0			0			
	④ 地方債	0			0			0			0			
	⑤ その他特財	9,090			8,995			6,383			0			
決算情報	① 流充用額	△ 1,083			△ 505									
	② 配当予算	8,007			8,490									
	③ 執行額	8,001			8,417									
	④ 執行率	99.9%			99.1%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全庁年度任用職員)	0.16	/	5.16	0.17	/	5.06	/			/			
	② 概算人件費	15,728			15,528									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		23,729			23,945									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	福知山城天守閣等入館料等		種類	総務使用料		実績金額	6,360		決算附属資料	7		頁
			御城印			物品売払収入			2,001			33		
			福知山城指定寄付金			総務費指定寄付金			56			33		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	59711	59438	56909			
	入館者数	目標値		60000	50000	60000	60000	60000	
			達成度	%	100%	119%	95%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日	249	308	307			
	開館日数	当初見込		365	308	307	300	300	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
常設・企画展示の工夫と周知									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	来館者数がコロナ禍前の水準以上に回復し、大河ドラマで来館できなかった市民や訪日外国人の来客が増えている。再建から40年が迫る中、建物や石垣の老朽化等が課題となっているが、建物は城郭建築であり、石垣は文化財のため、改修工事が必要な場合は専門家の調査が必要になるため、計画的な施設管理が必要となる。	
現状の課題 に対する 改善策	○来館者数維持・増加のため、一時の話題性のみでなく、施設の特色を活かした企画運営及び周知活動の実施を検討する。	
	○施設内での企画展実施方法について検討する。	
	○施設改修については、高優先度の箇所から実施する一方で、長期的展望及び施設運営面を含めて検討する必要がある。	
	○案内看板や柵が破損しているところもあり、順次修復していく。	

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人	5596	6373	7343			
	入館者数		目標値		10000	10000	10000	10000	10000	
			達成度		%	56%	64%	73%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	21	24	19			
	展示会、講座、教室等主催事業 開催回数		当初見込		25	25	25	25	25	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	年間として様々な体験教室、特別展を実施することで入館者数の増加につなげる。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績							
			目標値							
			達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績							
			当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ■どのような人がどのような目的で利用しているか判断するためのデータがなく、今後の目標の方向性が不明確な点。 ■施設の老朽化やどのような施設かが分かりづらいという声がある。								
現状の課題 に対する 改善策	■来場者にアンケートを取り、ニーズを把握し主催事業(体験会や特別展)に反映させる。 ■施設をイメージしやすく、観光客が入りやすい看板設置等を行う。 ■丹波生活衣館単館だけでなく、近隣の文化施設等と連携した事業展開を行うことで、効率性や有効性を高める。								

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	治水記念館管理運営事業						事業コード	020108650311			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展				
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承					施策コード	431			
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室				所属長	井上 郷太郎				
会計情報	款	02 総経費	項	01 総務管理費	目	08 文化振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	78	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市治水記念館条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	-										

背景(現状)
(3行程度以内)

※事業を実施する背景や事業における現状

治水や水害に関する歴史に関する展示を行い、来館者には館の職員や柳菱クラブのメンバーなどによる説明により水害に見舞われてきた過去について学習していただいている。水害に見舞われた町家は歴史的建造物であり、水害と水防の歴史がわかる町家の構造を見学し、体験することで防災意識を高めていただいている。令和6年度防災資産に認定。入館料は無料。月曜日、火曜日休館。

※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ

治水の歴史を後世に伝えていくために体験談などを説明できる人員の確保。柳聖クラブメンバーは高齢となり次世代へつなぐことが課題となっている。防災資産に認定されるなど広報される機会が増えているものの、今後来館者数の増加への継続的な対応が課題となっている。

※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入）

福知山市と治水や水害に関わる歴史に関する展示を実際に水害に見舞われてきた町屋を用いて行い、治水の歴史を地域に根差して後世に伝えていく。

※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うかの箇条書きで記載すること

- 施設の管理、受付案内業務
- 企画展・関連イベントの企画・開催・運営
- 明治初期に建てられた福知山の典型的な町家建物であり、歴史的建造物として保存活用する
- 防災センターと連携して、水害や水防の歴史・防災情報を紹介することにより市民の防災意識の向上を図る

市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
----------------------------	------	-----------	----------	-----

☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他（ ）

柳菱クラブ、アムスセキュリティサービス

主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績 (R6)	主な業務内容	費目	実績 (R6)	主な業務内容
	需用費	411	消耗品費、光熱水費、印刷製本費			
	役務費	119	損害保険料、通信運搬費			
	委託料	1,138	機械警備業務委託、案内業務委託			
	使用料及び賃借料	12	NHK受信料			
	工事請負費	561	フェンス設置工事請負費			
	備品購入費	249	事務用プリンタの購入、ブルーレイプレーヤの購入、2階和室エアコン購入			

① 当初予算

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,825		2,038		1,706		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0	
	小計(①～③)	1,825		2,038		1,706		0	
予算財源内訳	① 一般財源	1,825		2,038		1,706		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
	決算情報	① 流充用額	130		466				
② 配当予算		1,955		2,504					
③ 執行額		1,954		2,490					
④ 執行率		99.9%		99.4%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.11	/ 0.50	0.17	/ 2.10	/		/	
	② 概算人件費	2,280		7,240					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,234		9,730					

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
				7					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人			2457	2056	3666			
		目標値				3300	3300	3300	3300	3300	
	入館者数	達成度		%			74%	62%	111%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	事業		6	6	7				
	企画展の開催	当初見込			9	9	9	9	9		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
来館者を対象に町家の雰囲気合った昔からの風習などを次世代へつなげる企画展を行う。市内の小・中学生を対象に身近なところから始められる防災に関する学習の機会の創出。水害の経験を語り継ぐことにより来館者の防災意識の向上。											
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	治水の歴史を後世に伝えていくために体験談などを説明できる人員の確保が必要である。柳菱クラブメンバーは高齢となり次世代へつなぐことが課題となっている。防災資産に認定されるなど広報される機会は若干増えているものの、来館者数の増加が課題となっている。施設は老朽化しており、来館者に快適に過ごしていただくための設備は整っておらず、施設修繕等熱中症対策は必須である。市民全体の防災意識を向上させるためにも防災学習のきっかけとなるような企画を開催し来館していただく必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	●治水記念館をより広く認知してもらうために、企画展などの広報を積極的に行い来館者を呼び込む	
	●語り部の体験談をデジタルデータで保存しており、今後來館者に視聴してもらう等活用していく	
	●近隣の文化施設等と連携した事業展開を行うことで来館者数を増やし、施設を有効に活用する取組を進めていく	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	芦田均記念館管理運営事業										事業コード	020108650316				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展							
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431					
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室						所属長	井上 郷太郎							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	78		頁
計画期間	開始年度	平成14年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市芦田均記念館条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山市初の総理大臣経験者であり、福知山市名誉市民である芦田均元首相に関する資料の管理及び展示を行う。地域住民の文化活動の場として多目的ホールや和室の貸室を行っている。芦田均元首相のピアノを活用しストリートピアノを行っている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 施設内の芦田均生家が老朽化している。指定管理者による施設運営であり地元住民を中心とする組織である芦田均元首相顕彰会が管理しているが、来館者の増加に向けた取組の少なさが課題となっている。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 福知山市市内初の総理大臣経験者であり、福知山市名誉市民である芦田均元首相を顕彰し関連する資料を保存及び活用することで、地域文化の向上に寄与する。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ●施設・設備の維持管理 ●受付案内、施設使用許可申請業務 ●芦田均関連資料の収集・整理・保管・展示 ●企画展・関連イベントの企画・開催・展示 ●資料展示により、福知山市出身である芦田均元首相を顕彰するため、入館料を無料としている。									
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者					対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,911		4,197		4,205		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		3,911		4,197		4,205		0					
予算財源内訳	① 一般財源	3,856		4,142		4,150		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	55		55		55		0					
決算情報	① 流充用額	△ 269		11									
	② 配当予算	3,642		4,208									
	③ 執行額	3,606		4,203									
	④ 執行率	99.0%		99.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/全時年度任用職員)	0.26	/	0.10	0.16	/	0.05	/					
	② 概算人件費	2,360		1,420									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,966		5,623									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	芦田均記念館使用料		種類	総務使用料		実績金額	15		決算附属資料	7		頁
		電柱占用料(芦田均記念館)			総務使用料			2			7		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	2887	3395	2600			
		目標値		3500	3500	3500	3500	3500	
	入館者数		達成度	%	82%	97%	74%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	6	7	7			
	イベント開催回数	当初見込		5	10	10	10	10	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
著名な有識者を招いての講演会をメイン事業として開催。多様なテーマの自主事業を実施。地元住民による作品展の開催などを行う。帰郷者が多く訪れる機会となるよう正月三が日に臨時開館する等の工夫を行う。SNSを活用し広報を強化する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	指定管理者による、著名な有識者を招いての講演会が記念館事業のメイン事業となっており、他にも地元住民による作品展を開催するなど、多様なテーマの自主事業を実施している。指定管理者による積極的な施設運営が行われている。施設内の芦田均生家が老朽化している。SNSを活用した広報が特定の人物に限られているため情報が少なく、顕彰会の会員に積極的に情報発信してもらう必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	芦田均元首相に関する資料の紹介、発信方法等を指定管理者とともに検討する。指定管理者の地縁的特性を活用し、現在の指定管理者独自の自主事業の実施を検討する。施設の運営について、指定管理者制度の見直し等も含めて検討する。	

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	川上南古墳群・笹尾矢見所城跡発掘調査事業										事業コード	100501202302			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承							施策コード	431					
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	218	頁
計画期間	開始年度	令和5年度		終了予定年度	令和7年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	文化財保護法														
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()														
関連事業	-														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 古墳群と山城跡が所在					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 埋蔵文化財保護と開発行為等との調整					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・民間開発事業により川上南古墳群・笹尾矢見所城跡が消滅することから発掘調査を実施する					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・古墳群と山城跡を対象に人力による掘削により内容の確認を行うとともに、適宜写真撮影と実測作業を行う。 ・記録保存のため調査報告書を刊行する。					
対象者	埋蔵文化財	対象者数	2	単位あたりコスト	2,220.5	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	(株)吉田生物研究所					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	需用費	423	消耗品費、印刷製本費			
	委託料	198	出土遺物分析委託			

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	25,696		896		11,601		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
	小計(①～③)	25,696		896		11,601		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	25,696		896		11,601		0						
	決算情報	① 流充用額	0		0									
② 配当予算		25,696		896										
③ 執行額		21,637		621										
④ 執行率		84.2%		69.3%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.83	/	0.40	0.46	/	0.05	/						
	② 概算人件費	7,760		3,820										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		29,397		4,441										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	川上南古墳群・笹尾矢見所城跡発掘調査事業		種類	教育費受託事業収入		実績金額	621		決算附属資料	49		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	—	1	—			
		目標値		—	1	—	—	—	
	発掘調査実施件数		達成度	%	#VALUE!	100%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	—	100	—			
	発掘調査進捗率			—	100	—	100	—	
		当初見込							
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	発掘調査の実施								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	—	—	1			
		目標値		—	—	1	1	—	
	調査報告書の刊行		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	100%	0%	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	—	—	100			
	調査報告書の作成進捗率			—	—	100	100	—	
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	報告書の作成								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 発掘調査の実施及び記録保存のための報告書刊行と後世に伝える取り組みが出来ている。開発行為に伴う発掘調査であり、原因者の理解が不可欠である。								
現状の課題 に対する 改善策	発掘調査前の事前協議において適切な説明と対応を引き続き継続する。 「令和7年度より埋蔵文化財発掘調査事業」として継続実施。								

(単位：千円)

事業名	歴史公文書等調査整理研究事業							事業コード	100501202303		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展			
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431		
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室					所屬長	井上 郷太郎			
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	218	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R7現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	-										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	-										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山市の近代を物語る歴史公文書が未整理である					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 内容が不明なもの多いため、早急に内容の把握と目録作成が必要である。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 歴史公文書ほか市内歴史資料の調査・整理・研究を行う					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・昭和30年代以前の公文書の内容把握と目録作成					
対象者	歴史資料		対象者数	3,000	単位あたりコスト	1.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	報償費	156	調査員報酬			
	需用費	185	消耗品費			
	負担金補助及び交付金	500	福知山公立大学共同研究負担金			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,270		1,770		0		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
	小計(①～③)	1,270		1,770		0		0	
予算財源内訳	① 一般財源	1,270		1,770		0		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	0		△ 510					
	② 配当予算	1,270		1,260					
	③ 執行額	1,032		841					
	④ 執行率	81.3%		66.7%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.22	/ 0.05	0.17	/ 0.35	/		/	
	② 概算人件費	1,900		2,340					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,932		3,181					

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
				12					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	—	2	1			
	展示回数	目標値		—	2	2	—	—	
			達成度	%	#VALUE!	100%	50%	#VALUE!	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	点	—	1500	4200			
	目録作成数			—	1000	1500	—	—	
				当初見込					
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	公文書の内容把握と目録作成								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
				当初見込					
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 目録の作成により数多くの公文書の内容把握ができた。今後は、公開・利活用が課題である。								
現状の課題 に対する 改善策	歴史公文書は価値のある資料であり、多くの市民が共有できるようにする必要があることから、公開・利活用を図るための新たな事業を立ちあげる。								

(単位：千円)

事業名	文化財保全事業						事業コード	100501640103			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展				
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承					施策コード	431			
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室				所属長	井上 郷太郎				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	224	頁
計画期間	開始年度	平成4年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R7現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等	福知山市文化財保全補助金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	-										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 文化財は長年伝えられてきたものであるが経年劣化及び災害等により傷みが激しいものもある。また、防災・防犯にかかる維持管理費も必要である。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 傷みの激しい文化財について早急な修理を行う必要がある。また防災・防犯に係る維持管理についても適切な対応が必要である。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 後世に貴重な文化財を継承するため国・府・市指定文化財の保全・保護を図るとともに市民の学びを深める。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか簡条書きで記載すること ・文化財所有者(管理者)に対して修理や維持管理について適切な助言を行うとともに、事業の実施に対して交付要綱に基づき補助金交付を行う。補助率は所有者負担額の2分の1以内。上限は100万円(建造物については300万円)。					
対象者	国・府・市指定文化財		対象者数	291	単位あたりコスト	32.6
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	負担金補助及び交付金	1,800	指定文化財所有者等が行う自火報維持管理費や修繕等への補助			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,800		1,800		0		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
小計(①～③)		1,800		1,800		0		0		
予算財源内訳	① 一般財源	1,800		1,800		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	1,800		1,800						
	③ 執行額	1,800		1,800						
	④ 執行率	100.0%		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.23	/	0.30	0.82	/	0.40	/		
	② 概算人件費	2,680		7,680						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,480		9,480						
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件		0	0	0				
		目標値		0	0	0	—	—			
	維持管理・修繕未解決事項	達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#VALUE!	#VALUE!			
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	13	12	18					
	維持管理・修繕実施件数	当初見込		9	11	13	—	—			
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	文化財所有者(管理者)に対して保護・保全にかかる助言を行い、必要であれば文化財の修繕等について協議を行う。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 文化財の修繕及び防災・防犯にかかる事業を所有者(管理者)が実施することにより、文化財を後世に伝え残すことができる。文化財の状況に応じた適切な修繕・維持管理を取り入れていく。								
現状の課題 に対する 改善策	文化財の修繕と維持管理については専門的な知識が必要であるため、文化財の種類に応じて専門家の意見を取り入れている。 令和7年度より文化財保護関連事業へ統合								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	夜久野町化石・郷土資料館運営事業										事業コード	100501640105				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展							
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431					
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室						所属長	井上 郷太郎							
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	224		頁
計画期間	開始年度	昭和53年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市夜久野町化石・郷土資料館条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 夜久野町の歴史と文化を伝えるため夜久野町で収集した資料を主として展示を行う。						
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 収集した資料を収蔵しているだけでなく展示物の入れ替えを行うことにより資料の活用を図る						
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・市民共有の財産である文化財の適切な保管と収集 ・文化財保護・愛護のための普及啓発活動 ・地域学習のための生涯学習資料の提示						
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・資料の現地調査を行い必要であれば収集を行う ・展示資料について市民の理解を深めるため体験学習会を行う ・展示資料について来館者に説明を行う						
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者			対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	370		370		261		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		370		370		261		0				
予算財源内訳	① 一般財源	324		324		215		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	46		46		46		0				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	370		370								
	③ 執行額	305		330								
	④ 執行率	82.4%		89.2%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.17	/	1.20	0.36	/	1.05			/		
	② 概算人件費	4,720		5,820								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,025		6,150								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	夜久野町化石・郷土資料館使用料		種類	教育使用料		実績金額	9	決算附属資料	10	頁
			電柱占用料(夜久野町化石・郷土資料館)			教育使用料			2		10	
				17								

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	35	20	20			
		目標値		20	20	20	20	20	
	体験学習の参加者数		達成度	%	175%	100%	100%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	1	1	1			
	体験学習								
		当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民に対する体験学習会の周知								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	京都府立大学の協力により館内一部の展示リニューアルを行い最新の調査成果を展示している。引き続き、最新の調査成果を継続的に展示することが必要である。								
現状の課題 に対する 改善策	最新の調査成果を展示するため、引き続き京都府立大学などの高等教育機関と連携し調査研究を進める。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	日本の鬼の交流博物館運営事業										事業コード	100501640106		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431			
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室					所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	224・225	頁
計画期間	開始年度	平成5年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市日本の鬼の交流博物館条例													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 大江山に伝わる鬼伝説を展示するとともに日本の鬼文化に関する資料の収集と展示を行う										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 収集した資料を収蔵しているだけでなく展示物の入れ替えを行うことにより資料の活用を図る										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・世界の鬼にかかわる資料の収集と保存と公開、情報発信 ・大江山に関する資料の収集と保存と公開、情報発信 ・有形、無形民俗文化財資料の収集と保存と公開										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・資料の現地調査を行い必要であれば収集を行う ・展示資料について市民の理解を深めるため体験学習会を行う ・展示資料について来館者に説明を行う ・鬼や大江山に関する情報発信を行う ・鬼や大江山に関する問い合わせに対するレファレンスを行う										
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者					対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	31,116		5,810		4,672		0						
	② 補正予算	△ 4,700		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		26,416		5,810		4,672		0						
予算財源内訳	① 一般財源	4,426		2,914		1,776		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	18,100		0		0		0						
	⑤ その他特財	3,890		2,896		2,896		0						
決算情報	① 流充用額	0		539										
	② 配当予算	26,416		6,349										
	③ 執行額	24,017		6,349										
	④ 執行率	90.9%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全時年度任用職員)	0.17	/	3.05	0.47	/	3.05			/				
	② 概算人件費	9,900		12,300										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		33,917		18,649										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	日本の鬼の交流博物館使用料		種類	教育使用料		実績金額	2,548		決算附属資料	10		頁
			文化財関係図録、図書			物品売払収入			142			32		
			特製アクリルスタンド			物品売払収入			12			33		
				10										

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	10722	10158	10539			
	入館者数	目標値		10000	10000	10000	10000	10000	
		達成度		%	107%	102%	105%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	4	3	3			
	特別展の回数	当初見込		3	3	3	3	3	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民に対する特別展の周知								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・福知山市の地域資産である鬼をテーマにした全国的にも珍しい施設である。鬼文化の資料収集を積極的に行うことにより、観光や民俗学に関わる冊子等の取材、資料の提供に関する問い合わせも多く、福知山市の文化施設としてPR効果は大きい。開館30年を超え、施設のメンテナンスが欠かせない状況である。								
現状の課題 に対する 改善策	施設の長寿命化を図るため適宜修繕を行う必要がある。								

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	2	2	3			
	収蔵資料を公開するためのミニ企画展を年2回実施			当初見込	2	2	2	2	2
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
収蔵している資料の整理分類・調査研究を行う									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
				当初見込					
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	収蔵している資料を展示にて利活用できている。現状では資料の保管に異常はない。資料の保管のため、収蔵施設の適切な管理が求められることから、適切な修繕を実施していくことが課題である。	
現状の課題 に対する 改善策	資料収蔵施設の維持管理の徹底。 令和7年度より文化財保護関連事業へ統合	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	文化財資料移転事業										事業コード	100501640123			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431				
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	225	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R7現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	-														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 一市三町の合併に伴い歴史資料がそれぞれの市町の収蔵施設に保管されている状態となっていた。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 収蔵資料の公開と活用									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市内8か所の施設に保管していた収蔵資料を2か所の適切な収蔵施設へ移転するとともに、地域文化の継承のため収蔵資料の適切な保管と整理を行う。また、老朽化した収蔵施設の解体撤去を進める。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・それぞれの市町に保管されている資料の把握と集約 ・集約した資料の整理分類 ・老朽化した収蔵庫の解体撤去									
対象者	文化財資料				対象者数	21,000		単位あたりコスト	1.6	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	4,450		42,150		0		0			
	② 補正予算	0		△ 11,657		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		4,450		30,493		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	1,550		150		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	2,900		21,000		0		0			
	⑤ その他特財	0		9,343		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	4,450		30,493							
	③ 執行額	4,220		30,378							
	④ 執行率	94.8%		99.6%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.22	/	0.45	0.17	/	0.50	/			
	② 概算人件費	3,020		2,760							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,240		33,138							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	文化財資料移転事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)			種類	基金繰入金	実績金額	10,842	決算附属資料	38	頁
		文化財資料移転事業(公適・除却)				教育債		19,500		55	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	件	—	—	1			
	老朽化した収蔵庫の解体撤去		目標値		—	—	1	—	—	
			達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	100%	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	%	—	—	100			
	整理分類率		当初見込		—	—	100	—	—	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	解体撤去する収蔵庫内資料の整理分類									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績							
			目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績							
			当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 分散している資料を2か所に集約し一括管理が可能となった。資料保管のため施設の適切な管理が求められる。								

現状の課題 に対する 改善策									

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	文化財保護啓発事業										事業コード	100501640139			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431				
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	225	頁
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R7現在の状況	他事業を統合		
根拠法令等	福知山市文化財保護に関する条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 文化財とは市の歴史や文化を物語る貴重な財産であり市内各所に所在する。この貴重な財産を後世に伝え残すことが責務である。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・文化財保護意識の醸成									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市内の文化財を未来へとつないでいくため文化財の保護と啓発を推進する。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・文化財の調査と調査結果に基づく文化財の指定等 ・文化財保護の醸成を目的とした啓発活動(講座の開催、展示、説明看板の設置、資料に関するレファレンスなど)									
対象者	市民				対象者数	76,000		単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,902		1,547		3,941		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		1,902		1,547		3,941		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,431		1,547		3,935		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	471		0		6		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 29										
	② 配当予算	1,902		1,518										
	③ 執行額	1,485		1,290										
	④ 執行率	78.1%		85.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.29	/	0.10	0.57	/	0.20			/				
	② 概算人件費	2,600		5,120										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,085		6,410										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	件	4	11	5			
		目標値		1	1	1	1	1	
	文化財指定件数		達成度	%	400%	1100%	500%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	—	—	4			
	文化財調査の回数	当初見込		—	—	3	3	3	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
文化財調査の実施									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	貴重な文化財を未来へ伝えるため文化財の指定をコンスタントに行っている。市内には未発見の資料がまだまだ残っていると考えられ調査の実施が必要である。								
現状の課題 に対する 改善策	文化財の調査を引き続き実施していく。 R7年度からは、「文化財保全事業」、「文化財整理事業」、「文化財保護啓発事業」を統合し、「文化財保護関連事業」とする。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	額田ダシまつり補助事業										事業コード	020110130321			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431				
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所						所属長	余田 学						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	83	頁
計画期間	開始年度	平成12年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況		他事業へ統合	
根拠法令等	額田ダシまつり(額田のダシ振興会)補助金交付に関する要綱、額田ダシまつり(額田区自治会長会)補助金交付に関する要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 高齢化により伝統文化である額田のダシまつりに関わる住民が減少し、伝統文化の担い手の確保が難しくなっている。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 伝統文化を後世に継承し、地域の活性化と観光振興につなげる必要がある。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 京都府及び福知山市無形民俗文化財に登録されている額田のダシまつり(江戸時代から続く独自の伝統文化)を後世に継承し、観光資源として広くPRする。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 額田ダシ振興会及び額田区自治会長会へ補助金を交付 ・実施日:10月第2土曜日、日曜日 ・実施場所:福知山市夜久野町額田地内 ・事業内容:宣伝用チラシやポスターの製作及び案内看板の設置や、下ダシの制作、展示										
対象者	観光客及び額田地域住民					対象者数	10,000		単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	323		223		0		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		323		223		0		0				
予算財源内訳	① 一般財源	100		0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	223		223		0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 100		0								
	② 配当予算	223		223								
	③ 執行額	223		223								
	④ 執行率	100.0%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.12	/	0.00	0.12	/	0.00	/				
	② 概算人件費	960		960								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,183		1,183								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	額田ダンまつり補助事業基金繰入(ふるさと創生事業基金繰入金)			種類	基金繰入金		実績金額	223	決算附属資料	35	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	0	7000	7000			
	来場者数	目標値		10000	10000	10000	10000	10000	
			達成度	%	0%	70%	70%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	個	0	7	7			
	下ダシ製作数	当初見込		7	7	7	7	7	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
ダシの製作費やまつりの広報にかかる費用等に対して補助することで伝統文化の継承を支援する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 夜久野学園や夜久野こども園のダシ制作等により伝統文化の継承という目的は一定達成できている。 地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、市としては伝統文化を継承するために額田ダシまつりを継承させる必要がある。								
現状の課題 に対する 改善策	福知山観光協会、海の京都DMO、森の京都DMO等と連携し、インバウンド等も含めたPR戦略等を検討していく。 令和7年度から、「やくの高原・道の駅支援事業」と「額田ダシまつり補助事業」を「夜久野支所地域支援事業」として事業統合した。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	やくの木と漆の館事業										事業コード	020110230215				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展							
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431					
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所						所属長	余田 学							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	85・86		頁
計画期間	開始年度	平成12年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市ファームガーデンやくの条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 当地域の伝統である「丹波漆」の振興に資する施設であるが、1日平均4人の来場者数で目標が達成できていない状況である。 様々な催事や商談会等への参加など、来場を待つだけでなくアウトリーチの取組みにより「丹波漆」の周知に向けたPRが必要である。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 道の駅「農匠の郷やくの」の施設として、集客増を図る必要がある。 職員不足により漆器等の制作に限界がある。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 夜久野は古来日本でも有数の漆の産地であり、人々の暮らしを支えてきた生業は漆掻きであった。そんな夜久野の歴史を残し、伝えていくことを目的に設置された「やくの木と漆の館」を、丹波漆の伝統継承と漆産業の振興を目的に設立された「NPO法人丹波漆」の活動と連携を図りながら管理運営し、地元の漆を使った夜久野ならではの製品を作ること、丹波漆の良さを伝えていく。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること やくの木と漆の館の施設管理及び事業運営 ・建物、物品の維持管理 ・漆器の制作、販売 ・漆に関する資料展示、広報宣伝、漆塗体験の実施、ギャラリー展示										
対象者	利用者					対象者数	1,500		単位あたりコスト	8.9	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	3,913		3,854		3,778		0							
	② 補正予算	0		0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0		0							
小計(①～③)		3,913		3,854		3,778		0							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0							
	② 国支出金	1,956		1,927		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0		0							
	⑤ その他特財	1,957		1,927		3,778		0							
決算情報	① 流充用額	△ 189		0											
	② 配当予算	3,724		3,854											
	③ 執行額	3,724		3,745											
	④ 執行率	100.0%		97.2%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.21	/	2.90	0.18	/	2.90	/							
	② 概算人件費	9,800		9,560											
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		13,524		13,305											
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	やくの木と漆の館事業(デジタル田園都市国家構想交付金)		種類	総務費国庫補助金		1,536		実績金額	15		決算附属資料	15	頁
			やくの木と漆の館物品			物品売払収入		2,133			32				
			やくの木と漆の館体験料			雑入		74			46				

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	1365	1369	1222			
	入館者数	目標値		1500	1500	1500	1500	1500	
			達成度	%	91%	91%	81%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日	40	44	57			
	蒔絵・金継ぎ等教室開催	当初見込		33	33	33	33	33	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	NPO丹波漆との連携による「丹波漆」に関する発信								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	漆塗りや絵付けなど様々な体験型施設として運営するとともに、漆器の制作販売や、漆芸作家作品等の展示、各種資料展示、体験教室などを通じて地域文化の活性化を図った。 また、キャッシュレス決済の導入により売り上げも着実に伸びている。 道の駅「農匠の郷やくの」の施設として、集客増を図るために更なるPRが必要である。	
現状の課題 に対する 改善策	道の駅「農匠の郷やくの」の特徴ある施設として他の施設との連携により、全体の集客増を図るとともに、「福知山観光協会」、「海の京都、森の京都DMO」等との連携、インバウンド対策、PR戦略等を強化する。 ECサイトを活用した漆製品のPR等、新たな販売戦略にも取り組む。	